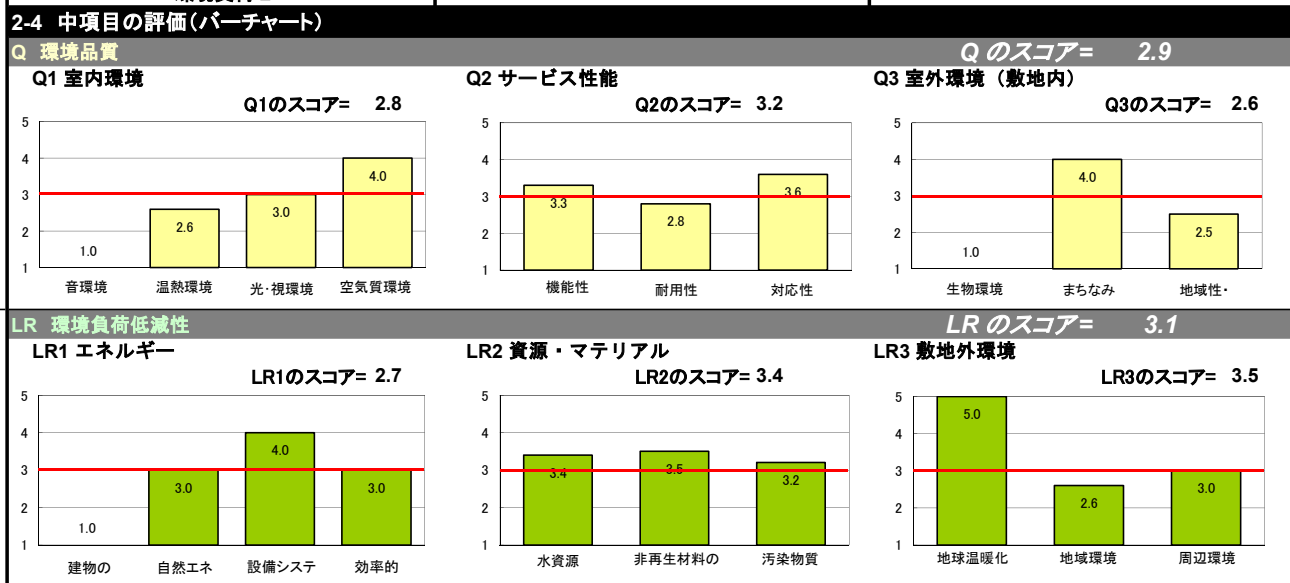
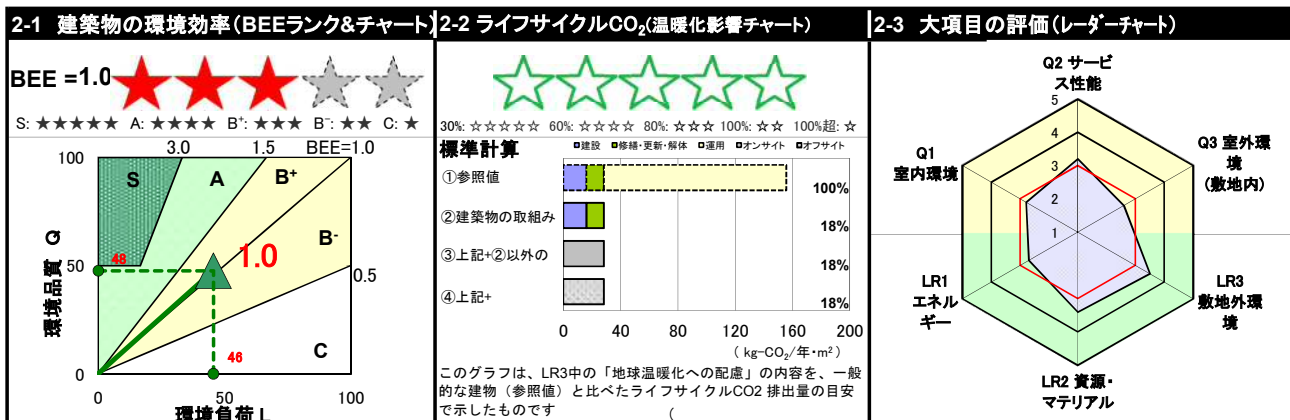


CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年通補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)マルショク深町店A棟	階数	地上1F	
建設地	福岡県北九州市若松区深町一丁目	構造	S造	
用途地域	第1種住居地域、第2種住居地域	平均居住人員	XX 人	
気候区分		年間使用時間	XXX 時間/年	
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2015年9月 0.0	評価の実施日	2015年4月23日	
敷地面積	5,798 m ²	作成者	河村晃	
建築面積	3,114 m ²	確認日	2015年4月24日	
延床面積	2,983 m ²	確認者	石川哲夫	



3 設計上の配慮事項		
総合 周辺環境との調和をはかるため、建物配置、形状、色彩等を工夫した。 また、防犯性を考慮し、前面道路からの視界を遮らない外構計画とした。		その他 特になし。
Q1 室内環境 前面道路からの騒音を防ぐため、道路からできるだけ離れた建物配置とした。	Q2 サービス性能 竣工後の改修、メンテナンスを考慮し、天井ふところを大きくした。	Q3 室外環境 (敷地内) 周辺の景観に調和するよう、建物の外装等の色彩、形状、高さ等は、周辺への圧迫感を軽減するよう考慮した。
LR1 エネルギー 建物内外の熱の出入を抑制するため、外壁裏に断熱材(グラスウール)を設置するとともに、二重折板屋根(間に断熱材:グラスウール)とした。	LR2 資源・マテリアル 揮発性有機化合物の発生を抑制するため、F☆☆☆☆建材を全面使用とした。	LR3 敷地外環境 建物利用者の駐車場、駐輪場は、適切な量を確保した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される